日中支援実施（就労支援項目）

利用者氏名　〇〇　〇〇　.

障害福祉サービス事業　マルワック

個別支援項目
1　就労への意欲・自覚
A 必要性を理解していて取組みが前向きである。
B 必要性は理解しているが取組みが消極的。
C 必要性の理解・取組み共に不十分である。
D 必要性が理解できていない。
2　作業意欲
A 自身を持ち、率先して意欲的に作業に取り組む。
B 自身を持って作業へ取り組んでいる。
C 取り組みが極めて消極的である。
D 殆ど意欲が感じ取れない。
3　職場環境への配慮（清掃・整理・整頓）
A 十分理解出来ていて、率先して実践できている。
B 理解と実践がだいたいできる。
C 理解と実践ともに、まだまだ努力を要する。
D 殆ど理解されていなく、実践が粗雑である。
4　職場ルールの理解
A 十分理解・実践し、他への働きかけができる。
B 理解できていて、実践ができている。
C 理解・実践ともに不十分である。
D まだまだ努力を要する。
5　仕事の報告
A 指示したことの報告が的確にできる。
B だいたいできる。
C まだまだ努力を要する。
D 実践できない。
6　作業に取り組む態度
A 積極的に作業に取り組む。工夫できる。
B 積極的に作業に取り組むが、工夫がない。
C 指示すれば作業できるが、工夫がない。
D 指示したように作業が出来ない。

個別支援項目
7　持久力
A 投げ出すことなく、根気強い。
B 投げ出すことはないが、勝手な行動が時々ある。
C 安易に持ち場を離れてしまう。
D 直ぐにスローダウンしてしまう。飽きっぽい。
8　作業態度
A 素直でハキハキしていて、敏捷性が高い。
B 素直でハキハキしているが、敏捷性にかける。
C 素直であるが、ハキハキさと敏捷性に乏しい。
D 惰性傾向が強く、いつもダラダラしている。
9　作業能力の向上
A 経過期間と共に、作業能力が著しく向上できる。
B 経過期間と共に、作業能力が概ね向上できる。
C 経過期間と共に、作業能力が除々に向上できる。
D 作業能力があまり向上してこない。
10　指示内容の理解
A 的確に理解し行動できる。
B 概ね理解し行動できる。
C 理解するまでに時間がかかる。
D よく理解できない。
11　作業の正確性
A 正確に作業ができ、十分信頼できる。
B ほぼ正確に作業できるが、時々ミスがある。
C 手順どおり作業できない。繰り返しのミスが多い。
D ミスが多く、見放しが出来ない。
12　危険への対処（危機感）
A 危険予測し、安全な行動をとることができる。
B 危険予測し、概ね安全な行動をとることができる。
C 危機感はもっているが、問題意識が乏しい。
D 危機感が全くない。

個別支援項目
13　協調性
A 他人と協調して作業ができる。気遣いが出来る。
B 概ね他人と協調して作業ができる。
C 他人と協調した作業にはまだまだ難点がある。
D 自閉傾向にあり他人と協調して作業ができない。
14　器用さ・瞬発力
A 手先が器用で、動きが素早い。
B 手先は器用であるが、動きが鈍い。
C どちらかと言えば不器用で、行動が散漫である。
D 素早い行動ができなく、ダラダラしている。